

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループミッション

世界の人びとの「いのち」と「くらし」に貢献する。健康で快適な生活と環境との共生の実現を通じて社会に新たな価値を提供

営業利益
3,800億円

ROIC
8%以上

ROE
12%以上

営業利益
2,700億円

② 中長期の経営戦略

1. 投資成果創出による利益成長

医薬・クリティカルケア・海外住宅が主要ドライバー。M&Aを中心とした先行投資から確実に利益創出。エレクトロニクス・セパレータの収益改善を見込む

3. Diversity×Specialt…

3領域で高水準利益貢献ヘシフト。ヘルスケア・住宅領域への投資増加。マテリアル領域は構造転換と重点事業投資で2030年度目標達成へ

2. 構造転換・資本効率改善

マテリアル領域で2024年度売上高約20%の事業構造転換。ベストオーナー視点・他社連携・自社転換の3アプローチで推進

4. 財務・資本規律強化

3年間で約1兆2,000億円のキャッシュフロー管理。営業キャッシュフロー75%、その他25%で調達。D/Eレシオ0.7程度・有利子負債/EBITDA3.0程度を目安

③ 対処すべき課題

① 持続可能な社会課題への対応

- ・2024年世界平均気温が産業革命以来初めて1.5°C超。地球温暖化対応が急務
- ・SDG進捗が順調17%。資源不足・生物多様性喪失に対応
- ・企業や産業を超えた共創の推進が必須

② 経営環境の不確実性対応

- ・紛争・政情不安・社会分断によるサプライチェーン不安定化
- ・エネルギー・原材料価格変動への耐性強化
- ・経営基盤強化（グリーン化・人財・無形資産）が重要

③ 資本効率と企業価値の向上

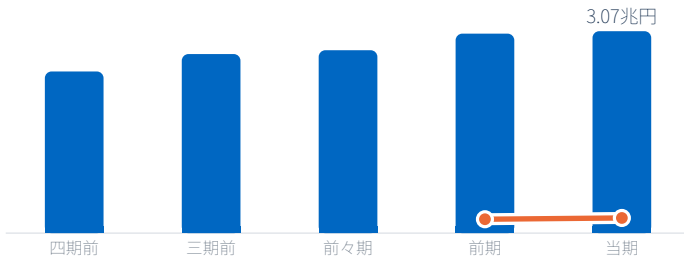
- ・PBR1倍以下が2021年度以降継続。早急に1倍超が課題
- ・株主資本コスト8%に対しROE改善が必須
- ・事業ポートフォリオ変革と収益力向上が重点取組

面接で使えるポイント

- ・グループミッション『世界の人びとのいのちとくらしに貢献』のもと…
- ・2030年営業利益3,800億円、ROIC8%以上を目指す成長戦略と、多様性×差別化で持続的イノベーション創出
- ・ウクライナ紛争・中国経済減速など不確実な経営環境下でも、約1兆円の成長投資と財務規律を両立する経営判断

証券コード 3407

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.07兆円営業利益率
7.5%財務健康度
41点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
848万円
化学内 28位/204社平均年齢
41.9歳
化学内 110位/204社平均勤続
17.1年
化学内 61位/204社女性管理職
7.7%
化学内 71位/173社男性育休
99.4%
化学内 44位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 旭化成エレクトロニクス、非接触・カメラ不要の見守りを実現する

